

キャリアプランの立案と学修の進め方（2014年度入学者に適用）

国際経営学科で学ぶ学生のみなさんは、経営学部での学修を卒業後のキャリア形成にどのように活かすかを考えながら、授業科目を履修する必要があります。入学時から卒業後のキャリアについて考え、どのような働き方、生き方を求めるかを模索しながら学修を進めることになります。

4年間をとおして、次の点に留意して学修に取り組んでください。

(1)キャリアプランの立案と修正を繰り返しながら学修を進める

入学時点で、卒業後の仕事やキャリアをはっきり決めている学生のみなさんは多くはありません。「なりたい自分」が分からないという人の方が多いはずですが。しかし「なりたい自分」を描けなければ、状況に流されて生きることになりかねません。

そこで、キャリア・ショップシステムを活用して自己のキャリアプランを立て、適宜修正しながら明確なプランを構築してください。自己の興味・関心や適性を理解し、力を注ぎたいと思える分野を探して、授業科目と関連づけてみましょう。また、職業は多様化しています。さまざまな仕事・職業に関する情報を集め、職業人の話を聞く機会をもって、自己の可能性を探っていきましょう。

図表 9 (p.36) には、キャリアモデルと推奨ショップを示しました。まずはモデルを参考にして、その上で自己の目標やモデルを探ってください。また1年次「FYS」、 「キャリア・ワークショップ」、2年次「教養演習」などの科目を利用して、教員のアドバイスや仲間からのフィードバックを得ることもできます。さまざまな学修支援の機会を活用してください。

(2)学修目標の設定と達成度の振り返りを行って、学修のプロセスと成果を積み上げる

大学は、学生のみなさんが自分で履修科目を選択し、さまざまなプログラムに参加し、自ら行動を起こして自己を成長させる場です。そこで、各セメスターのスタート時には、ショップと科目を選ぶ学修の目標、サークルやアルバイトなどの活動目標、生活態度や能力開発に繋がる行動目標などを立てて、実践に努めてください。

授業で作成した研究レポートや、さまざまな活動記録を「マイポートフォリオ」に蓄積して、セメスターの終了時にはそれらを振り返って、設定した目標の達成度を自己評価しましょう。科目の成績評価だけでなく、目標がどれくらい達成できたかを自己評価することによって、自己の成長と能力伸長を実感できるはずです。達成できなかったことは次のセメスターの目標として、取り組みを継続しましょう。

(3)実践的・体験的な学修によって能力を伸ばし、自己理解のきっかけをつかむ

国際経営学科での学修は、授業で得た知識が実社会でどのように活かされているかを検証し、また実践の場で感じた疑問を解明するために学修を続けるという、実践と研究の繰り返しです。海外の日本企業への訪問や、近隣の小売店の品揃えの観察など、キャンパスの外での実践的・体験的な学修の機会はいくらでもあります。留学プログラムや体験型学修科目を積極的に履修し、国際経営の現実を体験的に学んでください。

現地に足を運び、社会人とコミュニケーションを取り、課題に取り組んで成果を得る体験的な学修のプロセスで、学生のみなさんは多様な能力を身につけることになります。また初めての体験は、自分が何に向いているか、何をおもしろいと感じるかを知らずにはいられないはずです。